



平成30年度前期 市内6地区で開催しました  
市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。平成30年度は前期と後期に分け、市内全地区を回る予定です。  
今回は、5月に市内6地区で開催した結果をお知らせします。

～もっと「議会」を身近に～

# 特集 議会報告会・意見交換会

地区別参加者数

(人)

開催地区	開催日	参加者数	参加者数	
			男性	女性
東部台	5月14日(月)	22	15	7
加 蘇	5月15日(火)	39	34	5
南押原	5月15日(火)	44	39	5
板 荷	5月16日(水)	25	23	2
東大芦	5月17日(木)	37	37	0
菊 沢	5月22日(火)	67	46	21
合計	6地区	234	194	40



**質問** 人口がどんどん減っているが、議員定数の削減については議論されているのか。  
**回答** 旧栗野町との合併前の36名から随時削減してきており、現在も議会改革特別委員会の中で議論している。議員がいらないことで意見が吸い上げられない

**質問** 発着所までは車での送迎が必要であり、負担が大きいです。運行区間を延伸しなければ子育て世代は出ていってしまいます。  
**回答** 市では、スクールバス運行の基準に満たない地区でも、児童が少ないなどの実情を踏まえて対応している。議会としても、

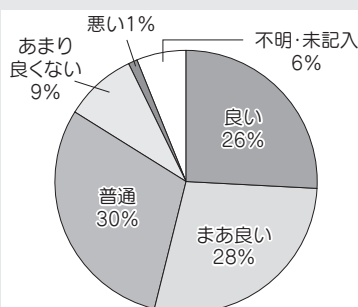
**議員定数について**  
**質問** 行政視察の報告書は公開されているか。  
**回答** 提出は義務化されている。公開方法は、今後検討したい。

**スクールバスの運行について**  
**質問** 助成対象を高校生まで拡大できないか。  
**回答** 県の対象は小学生までだが、市では独自に中学生まで助成している。重要な少子化・人口減少対策なので、引き続き訴えていきたい。

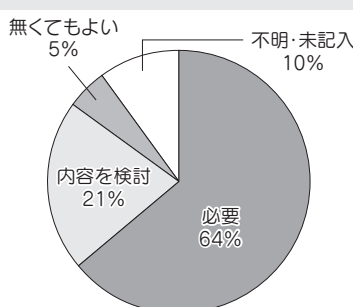
**議会活動について**  
今年度は、議会の概要や主な活動等を説明・報告した後、「少子高齢化・人口減少」をテーマとして、参加者からの質問に答える形で意見交換を行いました。その一部をご紹介します。

**子ども医療費について**  
などの地域格差も生じてしまうので、その点も考慮して検討していきたい。  
**質問** 助成対象を高校生まで拡大できないか。

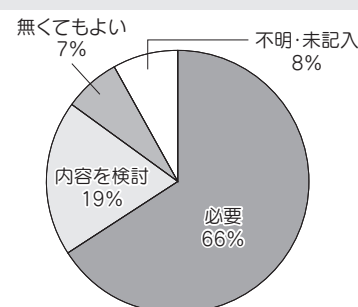
意見交換会の内容



議会の活動についての報告



議会の概要についての報告



グラフで見る  
参加者アンケート結果

児童の安全確保や保護者の負担軽減も考慮すべきと考えている。

### ■地域公共交通について

**質問** 若年層に住み続けてもらうためには、公共交通を充実させることが重要。市ではリーバスを運行しているが、バス停まで遠い人は乗らない。予約バスも地域や時間帯で制限がある。

**回答** 地域公共交通について、文教民生常任委員会が調査研究を進めている。すべての需要を網羅するのは難しいので、市民や事業者の意向、先進事例の調査などを踏まえ、市民が利用しやすいシステムを執行部に提案していきたい。

### ■地域包括ケアシステムについて

**質問** 様々な生活課題を「自助・互助・共助・公助」の連携によって解決していく取り組みが必要だが、特に地域の助け合いである「互助」が最も重要だと思う。

**回答** 市内の一部の地区では、「防災」「減災」「高齢者の見守り」「子どもの見守り」などを、部会ごとに分担する取り組みが動き出したところもある。まだ資金もない状況だが、必要なら



ころに予算を配分してもらえよう。執行部に要望していきたい。

### ■地域の賑わい創出について

**質問** 人口減少を食い止める要は、いかに地域の賑わいを創出するか。地域の夢実現事業は、地域の実情に合った有効な取り組みだと思ふ。議会の方でも、新たな発想を市に示してもらいたい。

**回答** 各地区で地域の特性に応じた様々な取り組みが盛んに行われている。議会として、それらを後押しできる活動をしていきたい。

### ■鹿沼市の営業戦略について

**質問** 積極的に市外にPRするため、都内に独自のアンテナショップを設置してはどうか。定住促進や観光、企業誘致などあらゆる面で大きな効果があると思う。

**回答** 本市のシテイプロモーションは他市より弱い。議会として、戦略的なPR方策を提案できるような、アンテナショップと言う手法も含めて調査していきたい。

### ■野生鳥獣害について

**質問** 米作りをしていて、何より

も獣害に悩まされている。イノシシ獲りをしているが、シカやサルなどの被害も深刻。中山間地域の農業や生活を守るため、獣害対策の予算を拡充してほしい。

**回答** 市や国も毎年予算を増やしているが、被害の現状に追いついていない。防護柵や箱ワナの設置、土手の下草刈りなど、野生鳥獣を近づきにくくさせる対策もあるので、引き続き地域の皆さんの協力をいただきたい。

### ■空き家対策について

**質問** 若者が地区外へ流出することで地元には高齢者しか残らず、空き家が増加している。

**回答** 市では「空家等対策の推進に関する条例」を施行し、空き家バンクによる空き家情報の収集・提供や解体費用補助などの対策を進めている。まだスタートしたばかりであり、今後さらに空き家が増加することも懸念されるため、執行状況をチェックしていきたい。

### ■雇用確保について

**質問** どの人口減少対策も市の東側向けの施策に思える。もっと西側の活性化を考えてほしい。



側は働ける場所も少なく、東側に企業誘致したのでは、若者は働く場所を求めて出ていってしまう。

**回答** 人口流出防止や企業誘致などのためには、道路や水道などのインフラ整備も欠かせない。議会として、執行部との議論に力を入れていきたい。

### 参加者の声

今まで市政に関心がなかったが、議会に関する説明を聞いて、よく勉強したいと思った。

地元の議員以外の議員の話も聞けたので、貴重な機会になった。

議事を身近に感じることができた。開かれた議会として、直接説明や報告をしてもらうことは重要である。



参加者が自治会役員中心なので、もっと事前の周知をすべき。

発言しているのはほとんど特定の人だった。多くの人の意見が聞けるよう、事前に質問や意見を募集した方がいい。

どんな議会活動がされているか普段はなかなか分かりにくいので、いい機会だった。

初めて参加したが、地域のいろいろな意見や要望が聞けて良かった。

### 地域の皆さんとの懇談は 私たち議員の基本です

広報広聴委員会  
委員長 鈴木 敏雄

私たち議員の活動を知ってもらい、地域の皆さんの生の声を聴くため、平成24年度から議会報告会・意見交換会を開催しています。今年度は全17地区を回る計画で進めており、その前分として6地区で開催しました。夕方忙しい時間帯にも関わらず、どの地区でも多くの方にご参加いただき、大変ありがとうございました。地域の方々との懇談し、同じ視点で鹿沼の未来を考えることは、市民の代表である私たち議員にとつての基本であります。今回も、厳しいご意見や叱咤激励の言葉をたくさんいただきました。皆さんの声をできるだけ限り市政に反映させられるよう、今後の議会活動において真摯に取り組んでいきたいと思ひます。後期分につきましては11月頃の開催を予定しています。決まり次第、ご案内させていただきますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

